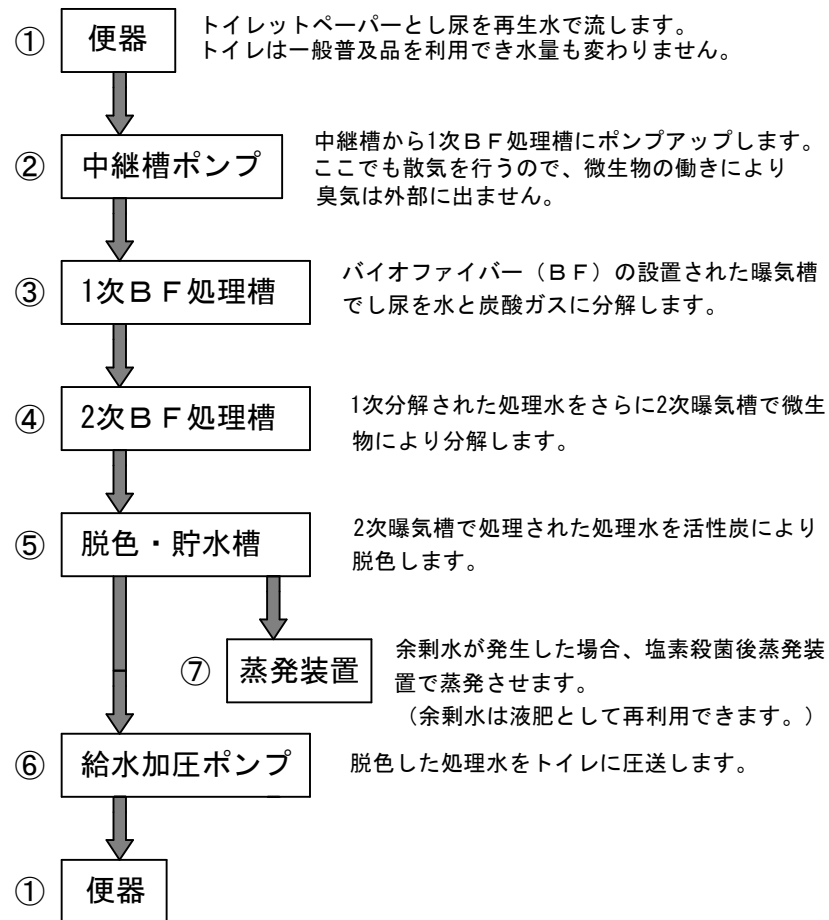


サステナトイレの仕組み

循環水洗式

処理の流れ



処理の説明

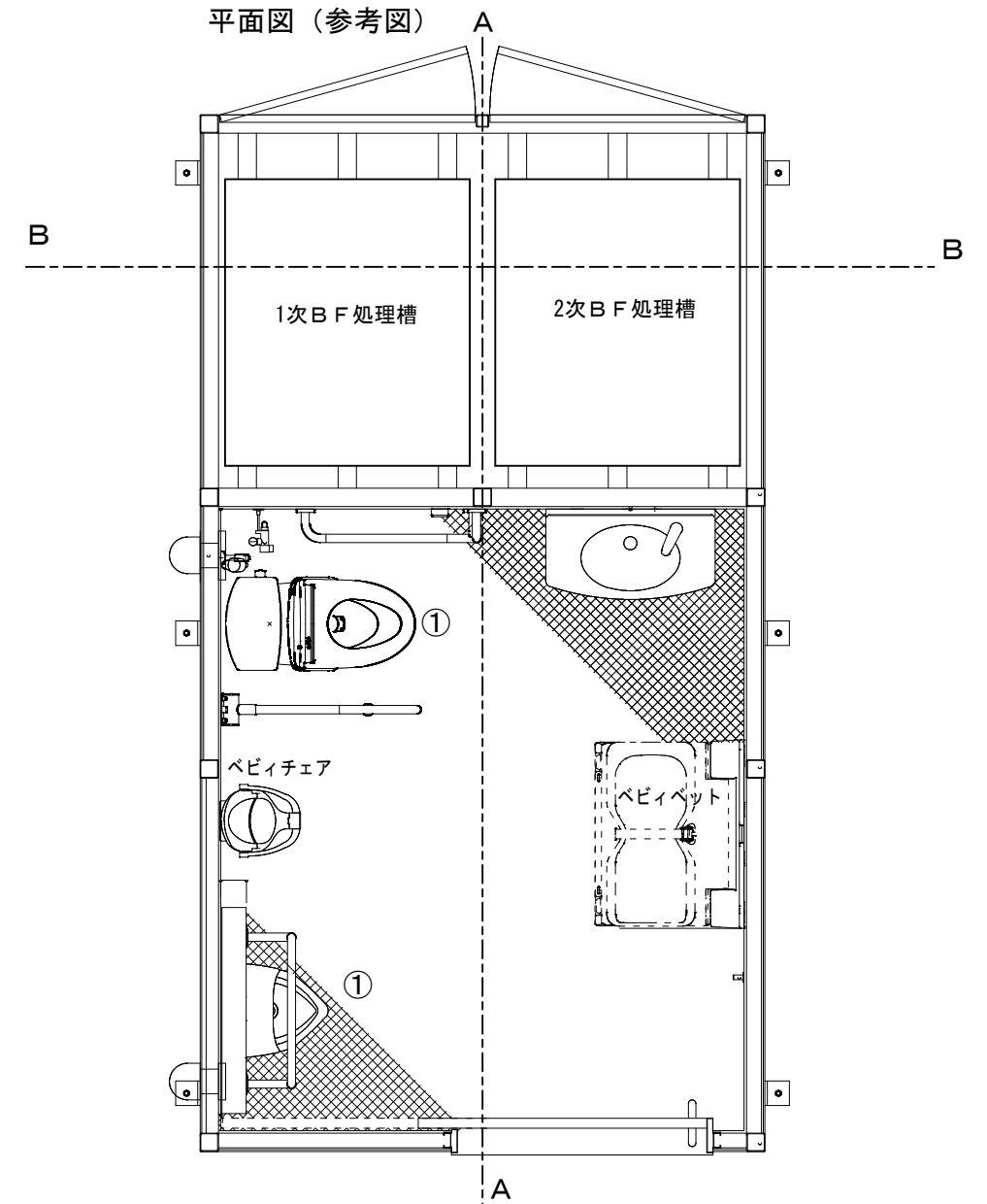
単一の汚水（し尿とトイレットペーパー）を発生源のすぐ側で効率良く処理を行う装置です。この特徴により水洗水の再生利用を実現しています。

処理にはバイオフィバーと呼ばれる接触ろ材を使用し微生物がし尿の分解をしやすい構造になっています。微生物に与える空気は特殊なエアレーターにより供給されます。このエアレーターは曝気槽下部に汚泥を滞留させません。汚水中の固形物はバイオフィバーに付着し水と炭酸ガスに分解され、定期的な汚泥の引抜の必要がありません。

バイオフィバーに付着した汚水は、好気性と嫌気性両方の微生物の働きによってきれいになります。処理された汚水を粒状の木質系活性炭により脱色します。脱色された処理水は貯水槽から給水加圧ポンプによりトイレに圧送されます。

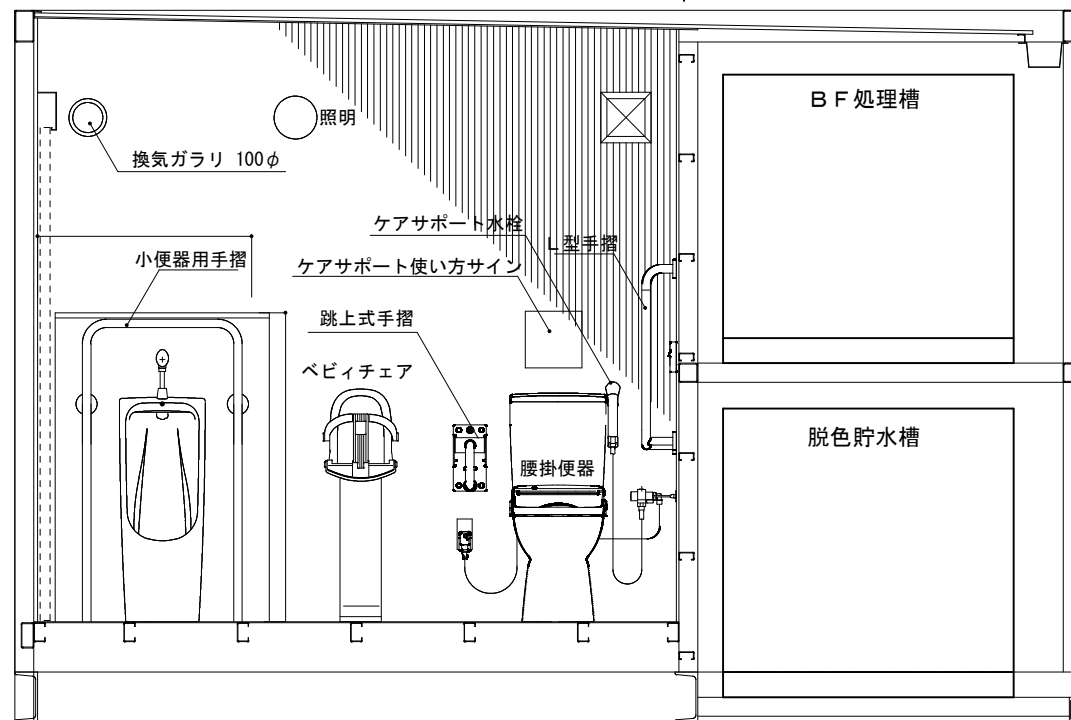
処理された再生水はし尿に対して消臭効果があり普通の水洗トイレと比べてアンモニアの匂いが抑えられます。トイレの使用によって増える処理水は、塩素殺菌後蒸発装置により気化することも可能です。

平面図（参考図）



トイレスペース（参考図）

循環水処理スペース



循環水処理装置（参考図）

